

1 年	特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2～3にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	・読み聞かせや読書、音読練習を通して、語彙を増やし、読解力を高める。 ・通年で書字に関する指導を行い、文字を丁寧に正しく書ける児童を育てる。	・本に触れることへの抵抗をなくすために、読み聞かせや読書の記録を活用し、本に親しみ、語彙を増やせるようにする。読書は、読み聞かせも含めて年間 100 冊をめざす。語彙を増やすために、教科書以外の音読に取り組み、暗唱できるぐらいまで、繰り返し音読する。 ・国語や書写の時間を中心に自分の鉛筆の持ち方を意識させ、正しい鉛筆の持ち方を指導する。学年末には、クラス全員が正しい鉛筆の持ち方ができ丁寧に字を書く意識がもてるようにする。	(成果) 本に親しみ、語彙を増やすことができた。音読を毎日行い、正しい読み方を理解することができた。 (課題) 読解力を高めることが難しい。語彙を増やすと共に、情報を探し出したり、内容を要約したりする必要がある。
算数	・算数の様々な概念を形成し、楽しく算数の基礎・基本を形成する。 ・足し算や引き算など、基礎的な事柄を繰り返し行い、確実な力をつける。 ・文章問題を自分で読み、解けるようにする。	・おはじきやブロックを数える、長さやかさを測るなど、多くの具体物を操作し、算数の基礎となる概念を形成する。 ・朝学習、家庭学習にプリントやスキルを使い、繰り返し学習する。徐々にブロックや指操作がなくてもできるようにする。また、デジタルドリルも活用する。 ・「文章を読み、立式し、答えを導き出す」という一連の流れを掲示し、自力解決できるようにする。立式するために必要な数字やキーワードを確認し、正しく解答できるようにする。ヒントを出せば 100 パーセントの回答率をめざす。	(成果) 基本的な計算問題を解くことができた。具体物の操作を通して、数学的な見方・考え方を養うことができた。 (課題) 文章問題を自分で解くことが難しい。キーワードを確認する共に、文章全体の意味を理解しながら立式させる必要がある。
生活	・観察したことを詳細にカードに記録し、発表できるようにする。	・動植物への興味関心が高く、熱心に世話をしている。世話から発展して、観察カードに色・手触り・変化を細かく見て描けるようポイントを絞り、気付けるようにする。	(成果) 五感を働かせて、気付いたことや分かったことをカードに書くことができた。

		・観察カードを掲示し、お互いに見合ったり、発見したことを発表しあったりする中で、よりよい観察ができるようにする。	(課題) 記入の仕方の例を段階的に少なくしていき、自分だけでも書けるようにしていく。
道徳	・資料を読み、自分だったらどうするかということを考えることができる。 ・教材を通して考えたことや思ったことを自分の言葉でノートに書けるようにする。	・資料の内容を読み取るだけでなく、毎回授業の中で自分だったらどうするかということを考えさせる。 ・授業の流れを明確化し、全員が見通しをもって参加できるようにする。意見を交流させた後に、自分の意見を書かせるようにする。書き方のモデルや具体例を示し、学年末にはクラス全員が自分の意見を記入できるようにする。	(成果) 教科文から、自分事として考えることができた。ほとんどの児童は考えを自分の言葉で表現することができた。 (課題) 考えを自分の言葉で表現することがまだ難しい児童もいる。引き続き、例示を真似することから書き方を学習する必要がある。